

2014.
3月号

広報～風・菜・樹 ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業グループ

生活支援センターふなき～地域との関わり～

生活支援センターふなきでは圏域内の相談支援事業所として、障害をお持ちの方々の安心で充実した地域生活の構築・維持を目的とし、相談支援だけでなく、ソーシャルアクションとして地域ぐるみで様々な取り組みを企画しています。その一節を今回紹介致します。

合同ネットワーク会議

生活支援センターふなきの主催で、圏域内の行政機関、精神科病院、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関を招集し、情報交換や連絡調整の場の提供、精神保健福祉に係る地域課題の協議等を行っています。

平成10年から実施し、現在は年2回の開催で、関係機関相互の顔の見える関係を築いています。



メンタルピンポン

3月14日に宇部市ケア協議会精神部会主催（※）で第2回メンタルピンポンが行われ、宇部市内の7つの事業所から約30名の利用者さんが参加され、当法人からもハイツふなき、生活支援センターふなきから利用者さんが参加されました。

個人戦、団体戦、お楽しみとしてスリッパ卓球も行われ、熱い戦いが展開されました。



開会式では利用者さんが選手宣誓をされました。



各コートでは白熱した試合が展開されています。



表彰式の様子です。
個人戦1位はふらっとの利用者さん
団体戦1位は緑豊舎の皆さんでした。

※宇部市障害者ケア協議会は、障害者の生活を包括的に支援するとともに、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりに向けて、自発的に集まった宇部市内の保健・医療・福祉・行政・学校・企業・市民のボランティア団体です。

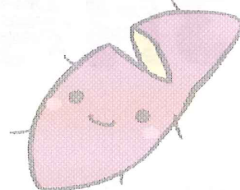
生活支援センターふなきは精神部会の事務局を担っています。

サムラ 他法人との連携 part2



「サムラを使って、工賃アップにつなげてください」と圏域の事業所に投げかけたところ、前号の「しいたけパン」の第2はばたきさんに続き名乗りを挙げたのがNPO法人工房ときわの緑豊舎さん。ただいまサムラの店頭にも、その商品が並んでいます。

このジャム、珍しいさつまいもジャムです。
左のピンクのラベルはすっきり味の紅はるか。
右の緑のラベルは濃厚な安納芋です。
思った以上に売れています。



そしてお次は切り干し大根。無農薬にこだわった美味しい大根を使用。「大根のみ」「人参入り」「人参と椎茸（第2はばたき産）入り」の3種。そしてローリエ。どれも手作りのシンプルでカッコいいラベルと包装です。「サムラも見習わなければ」と、良い刺激になっています。どれも原材料があるときにのみに作られる商品なので、お早めにお買い求めください。

そしてこちら。（右の写真）

物を売るだけではなく、売るための道具をハイツふなきの就労継続支援B型に依頼し、こんな台を作っていただきました。正直、単に「この台の上にいろんな事業所の商品を置いて販売し、少しでも圏域の事業所の利用者さんの工賃が上がれば」と思っていたのですが・・・もっと大切なことに気づくきっかけにもなりました。

というのも、この台はある利用者さんお一人で作られたのですが、その制作途中に何度かお話しする中で「施設長さん、仕事をさせてくれてありがとうね。この台はいくらでもいいよ。わしは、仕事に集中しちよるとき、嫌なこととか一切忘れることができる。お金も大事じゃが、好きなことをさせてもらえて、それで嫌なことも忘れることができる。仕事をしよるときが幸せなんじゃ」と話されました。工賃工賃言っただけで「利用者さんにとって、仕事とは何なのか・・・」

という「基本」を忘れていた自分に気づきました。それにしても、これ凄いでしょ！写真ではなく実物はもっと凄いですよ。市販なら20万円はするでしょうね。全てが手作りです。この台の上には、同じ圏域の事業所の商品が並び予定です。追ってご紹介しようと思います。

お楽しみに！



シリーズ ～職員勉強会～

今月の職員勉強会は日本赤十字社の方に講師依頼を行い、「救命救急」というテーマにて講義を行いました。普段、利用者支援を行っていく中で、生命にかかわる支援というのはいくつもあります。配薬も一つ間違えれば誤薬になり、特に処方箋が変更された場合は留意すべき支援となります。

また、当法人を利用されている方は高齢化が進んでおります。その中で誤嚥など日常を過ごしていく上で発生しやすいと思われる状況については、職員も誤嚥に対する知識というものが必要となってきます。

その為、今回は「一次救命措置」について日本赤十字社の方より、人形を使用した一時救命措置からAEDを使用する過程を実際に講義頂き、また職員が実際に体験する事で学びました。

もちろん日々利用者支援に関わる者として、救命措置の方法については念頭において支援しておりますが、実際現場で起こると焦ってしまい、適切な処置が出来なくなる可能性もあります。

知識としては知っている内容でも実際に行う事で、自分が思っていたよりもいかに救命措置が大変かをより理解した勉強会となりました。

今回のように、職員勉強会を通じて、今後も様々な基礎的知識・専門的知識を身に付けていきたいと思っています。



こころの医療センターから見学に来られました。

2月28日に山口県立こころの医療センターより患者様11名、職員7名の合計18名の方が社会福祉法人扶老会の見学に来られました。平常より利用を見据えた見学を受け入れる機会があり、先方のニーズに応じてグループ内4事業所での見学先を検討し、対応しております。

今回はハイツふなき・ヴィラふなき・サムラの3グループに分かれて見学をして頂きました。

最初に当法人佐伯所長よりの挨拶、その後簡単なオリエンテーションをさせて頂いてから見学を行いました。

パンフレット等の資料を見るのと、実際に自分の目で見るのではやはり印象が異なりました。

その為、実際の事業所の様子や利用者が作業している様子を見て、見学後の質疑応答の時間では事業についてのより具体的な質問や見学をしてみて気になった箇所など複数の患者様の方からご質問を頂きました。

また、今回の見学では当法人で介護保険事業を行っている楠園も同時に見学して頂き、より幅広い分野における見学となりました。



2月8日(土)ふらっとフォーラムに参加してきました！

ふらっとフォーラムとは、ふらっとコミュニティひだまりが主催している催しで、精神障害をお持ちの方達が自分の将来の夢や理想を話したり、自分や他人を大切にするための方法等を話し合う場です。

参加された皆さんに感想を伺いました。

- ・Mさん：ふらっとフォーラムに参加して私にとって大切な出会いがあり、交友関係として仲間が出来た事が嬉しいです。いろんな出会いを求めて今後いろんなセミナーに参加します。
(※今回Mさんはフォーラムにて発表をされました。)

- ・Nさん：食事や病気の事を聞けて良かった、楽しかった。
- ・Tさん：ふらっとフォーラムに行って色々な勉強になりました。友達も出来て話す事が出来ました。サムラの宣伝をしたので、たくさんお客さんが来ると思います。
- ・Nさん：楽しかった、楽しかった、面白かった。また行きたいので宜しくお願いします。
- ・Mさん：みんなが仕事についてお話をして、幻聴があるけれど自分の意見を言えてすごいと思いました。

宇部フロンティア大学からの実習生紹介

12月から2月の間、精神保健福祉士実習の為、宇部フロンティア大学より2名の実習生が来られ、常久さんは4週間、片岡さんは2週間の実習をされました。

誌面にてお二方の感想を紹介致します。

Question：お名前と学部、また学校で特に勉強している事を教えて下さい。

常久：人間社会学部福祉心理学科4年 常久真那です。

片岡：人間社会学部福祉心理学科4年 片岡真穂です。

Question：実習を通して、どんな事を学びましたか。(以下、敬称略)

常久：各事業所をまわって、私はこれから職員さんの立場になって働いていかなければならないので、広い視野をもち、先を見て行動したり、利用者さんに関わっていかなければならないことを学びました。

片岡：利用者さんそれぞれが自分の目標や夢を持ってプログラムに取り組まれたり、働かれたりする姿や思いから強みをいかす支援の重要性を学びました。

Question：最後に皆さんに一言お願いします。

常久：約1ヶ月間ありがとうございました。皆さんとお話できて楽しかったです。

片岡：2週間という短い間でしたが、皆さんとお話したり、お散歩したりと楽しかったです。



ここでの経験を活かして、これから社会人として頑張ってくださいね！

第32回フリーマーケット開催告知

4月13日(日)に扶老会フリーマーケットを開催します！出店者の皆様や、イベント出演者等、数多くの方に支えられ、今回で第32回を迎えます。皆様のご来場をお待ちしております。

開催要項

【日時】

平成25年4月13日(日) 8:30~14:00(予定)

【場所】

宇部市大字船木833-21

社会福祉法人

障害福祉サービス事業グループ敷地内



ちるるが
やってくるよ！

出店

焼きそば、焼き鳥、うどん、
カレー、ぜんざい、ジュース、
フランクフルト等

イベント

- ・ビンゴゲーム
- ・菓子まき
- ・よさこい(華舞姫)

榎谷施設長の

I can do it!

ちょっと遅いネタですが、みなさんソチオリンピックはいかがでしたか？私はフィギュアスケート以外あまり興味がないので全部を観たわけではありませんが、浅田真央選手には注目していました。

昔からある競技ですが、こんなにルールや採点方法が変わる競技も珍しいです。「嫌がらせですか？」と思うくらいに、どんどん浅田選手に不利な点数システムに変更されていくこの競技・・・技術が凄ければ、勝てるとはならない。

メダルが期待されていただけに、本人は帰国後にファンに謝罪・・・って、なぜ謝罪？あなたはメダルを取るためにオリンピックに出たんですか？ルールに合わせ、点数が出る無難な技で、確実にポイントを稼いで勝ち(メダル)を狙うことも出来たでしょう。しかし、そうではなかったはず！最大難易度を目指し、それを完璧にやりとげる。だからフリーの演技が完璧だった。

自分のやりたい、表現したいこと

が、このオリンピックの舞台にあるとするならば・・・

世界一の点数を出すことより、世界一の技を出すこと

そこに、人は心を打たれるのだと思います。

勝ち負けよりも目指さねばならない「プライド」がある。

そんなことを浅田選手が思い出させてくれた気に、勝手にになりました。

では、私の福祉人生ではどうか・・・

「障害者の方の望む生活をプランニングし、実現させる」

やっぱり、私の「原点」は、ここにある。

「あなたで良かった」

これまでの支援者人生で、数回言われたことがあります。こちら福祉サービスを提供するという、あくまでビジネス。最初から感謝の言葉は望んでいないし、無くて当然のこと。しかし、数年に1回、そんな言葉をいただくことがある。知識の浅い、情熱だけで仕事をしてきた人間にとっての「メダルの無い最高得点」地位とか職種とか、そんなものは全く関係なく・・・

「原点」を忘れちゃ、おしめえだ。

「原点」を忘れずに仕事をしていくことで、必ずや最高の達成感を得られる。そもそも、「福祉」は専門用語の多い業界であり、人の人生に携わるカッコいい仕事なので、普通にプランニング仕上げて人に指示を出せば、頭良さそうに見える。大抵の人はそこで終わり。ボロが出ないうちに、人に指示を出してカッコよく引く。でもセンスないように、ボロを出しながら、駆けずり回る方が難しい(笑)。

私はやりますよ。カッコ悪く恥をかきながら、障害者の方々に近い場所で

「自ら動いて成果を上げる」

それが、私のプライド。

CHECK!



- ・ハイツふなき
- ・ヴィラふなき
- ・生活支援センターふなき
- ・サムラ

〒757-0216

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業グループ
山口県宇部市大字船木833

(0836)67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型

(0836)67-1883 グループホーム・ケアホーム

(0836)67-2464 相談支援事業・日中一時支援

(0836)67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ

<http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>